＜択一式＞

総　括

①　問題のページ数は、68 ページ（昨年度と同じ 62 ページ）。昨年度に比べ長文の問題が多かった。

②　個数問題は３問（昨年度は２問）、組合せ問題は５問（昨年度は９問）であった。

③　（自己採点結果が一定程度集まらないと判断が難しいが）択一式の合格ライン（合格基準）は、昨年度（昨年度は 44 点）より上がり「**45 点**」（又は **46 点**）になるのではないか。

科目	コメント	目標点数
労基法及び安衛法	◆労基法（問１～７）問題レベル やや易しい→問１、２、６ 標準レベル→問３、４、５ ・難しい問題はなかった。 ７問中６問は正解したい。 ◆安衛法（問８～10）問題レベル 標準レベル→問 10 やや難しい→問８、９ ３問中１問は正解したい。	８点
労災法（徴収法を含む）	◆労災法（問１～７）問題レベル 易しい→問５、６ 標準レベル→問３ 難しい→問１、２、４、７ ・全体的に難しかった。 ◆徴収法（問８～10）問題レベル 易しい→問８・10 やや難しい→問９	６点
雇用法（徴収法を含む）	◆雇用法（問１～７）問題レベル 易しい→問２、３、５ 標準レベル→問６ やや難しい→問１、４、７ ・「易しい問題」か「やや難しい」にわかれる。 ◆徴収法（問８～10）問題レベル やや易しい→問９ 標準レベル→問 10 やや難しい→問８	７点

労一及び社一	◆労一（問１～５）問題レベル やや易しい→問５ 標準→問２、３ 難しい→問１、４ ・労働経済が２問、法令が３問（そのうち１問は社労士法）という出題構成は昨年、一昨年までと同じであった。 ・労働契約法からの出題が復活した。 ◆社一（問６～10）問題レベル 易しい→問 10 やや易しい→問６、７ 標準的→問８ やや難しい→問９ ・難しい問題はなかった。社一で４点は確保したい。	６点
健保法	◆問題レベル やや易しい→問９ 標準的→問１、５、６、７、８ やや難しい→問２、３、４、10 ・標準～やや難しいレベルの問題が多かった。 ・やや難度の高い選択肢が含まれていても、正解肢は容易に見つけられる問題も多かった。	７点
厚年法	◆問題レベル 易しい→問 やや易しい→問６、３、４、7 標準的→問１、２、５ やや難しい→問８、、９、10 ・問９・問 10 には「事例問題」が含まれているが、問９は正解できたのではないか。	７点
国年法	◆問題レベル やや易しい→問１、２、３、６、７ 標準的→問４、５、８、９、10 ・問８・問 10 が「事例問題」であったが、問９は正解できたのではないか。	８点